

税への誤解をなくす為に

大城琵那（沖縄県・伊江村立伊江中学校）

「早く大人になった方が良いよ。大人は楽しいよ。」

これは私の母の口ぐせだ。でも私は毎回こう答える。

「えー、大人になったら税を多く払わないといけないさー。だからやだ。」

でも、その度に母は、税があることへのありがたみを細かく話してくれた。私は、その話を右から左へと流しただけで、心に一音も響かなかった。でも、あるできごとがきっかけで、私の税に対する思いが百八十度変わった。

両親は、葉たばこ農家をしている。葉たばこ農家は土日の休みがなく、忙しい時期になると、帰宅する時間も遅い生活が続く。私はなぜそんなきつい仕事を続けられているのかがとても気になり、父に尋ねた。

「なんでこんなきつい仕事を続けてられるの？やめたいと思ったことはないの？」

すると、父からは予想外の言葉が返ってきた。

「ひな、たばこ税って知っているだろ、実はたばこ税は、税の種類の中でも、国たばこ税地方たばこ税、たばこ特別税、消費税の4種類もの税金が含まれているんだ。だから日本で、最も税負担率が重い商品になっているんだよ。」

私は更に疑問が増えた。父は続けて話した。

「けどな、ひな、その税は、一般財源に充てられ、日常生活の基盤の整備や公共のサービスの質を向上させるために利用されているんだよ。こんなに人の役に立てている仕事ないだろ？だからお父さんはこの仕事に誇りをもっているだよ。」

私はこの言葉を聞いた瞬間、税に対する誤解が解けた。

これまで、苦しい仕事はやだ。働く事が、独立する事がいやだった。けど、父のように直接じゃなくても人の役に立ってくれている人達がいるからこそ、私達の今の裕福な生活が成り立っている。

「大人になることは嫌か？なりたくないか？」

と言われると私はこう答える。

「いや、なりたい。世界中の人にために頑張りたい。」

税を払うことには不利に感じていた。そもそも税というものを誤解していた。しかし今の私は、税を払うことへの素晴らしいことを知っている。いつか父のように誇りを持てる仕事に、全力をそそげるようこれからも頑張っていく。